

山口樂譜

第三十篇

深山の紅葉

大童球溪作歌
佐々木英作曲



主幹原田比古士良
成樂會編

□深山の紅葉

大童球溪作詩

一、深山の奥の峰に登りて
深き谷間を眺め見れば
夜の間の時雨、朝の露に
染めもよこつらん燃ゆる色に
あゝゝゝゝゝ紅葉照る
ちしほの色に紅葉照る。
二、立田の姫の織き腕に
廣き深山を染めて織りて
誰にか着すそ綾や錦
朝日に夕日にかけて西す
あゝゝゝゝゝ秋の山
美はと清と秋の山。
「蜂腰織手」婦人の美稱

- 刊月 大特選樂譜 會費半々年一圓二十五錢團體大割引
十一月號 さらばナホホ(新伊國獨唱名曲) 新作幼年唱歌 冬の森
新作少年唱歌 鐘
- 十二月號 (年末増大號)コノ編五十錢年極購讀者例月通り
二部合唱春を待つ歌 ヒアノ獨奏 晚鐘
- 刊月 鈴蘭樂譜 會費半々年一圓二十錢團體大割引
十一月合同號 竹の卷 二部合唱 豊年(師の歡迎)
十二月合同號 梅の卷 齊唱 朝の歌
- 刊月 唱歌新教材集 會費半々年五十錢團體二十五錢
十月號 ヨシノ小雨(尋一二) おひさま(尋三女) 馬上の少年(五六男)
秋の野山(高學年男女) 夕されば(三部合唱)
十一月號 初雪(齊唱) ホシノ時計(齊唱) 霜の朝(齊唱) 宵の港(獨唱)
思ひ出(二重唱)
- 刊年五 新小學唱歌集なでしこ第五集 會費一ヶ年一圓五十錢
團體大割引
○チニシノ雀(低學年) ○あしたの天氣(中學年) ○繩とび(中學年)
○恩賜の御衣(高學年) ○冬景色(二部合唱)
同上第六集 (大正十五年一月十日發行)
○三才女(二部合唱) ○梅さ齋(低學年) ○日向ぼっこ(中學年) ○ひなま
つり(中學年女) 駈足(二部合唱)
- 刊月 成樂雜誌 會費半々年一圓五十錢
本會機關、文檢東音受験専門
第十四號 入正十四年度東音入學試驗問題、東音受験の方に、文檢受験準備法
十三年文檢解答、兒童の眞の發聲法、全國音樂教育寄名鑑、靜岡夏
季音樂學校報、雜報
第十五號 (前號のつゞき)

○特許 簡易マトロノーム 實費壹圓 送料二十錢 確實 優美

大正十四年十一月一日印刷 【非賣品】
大正十四年十一月五日發行 會費一部十錢送料二錢
會費半々年分五十錢

編輯兼 原田彦四郎
印刷所 樂譜印刷研究所
右代表者 大橋利康
福岡市大學通り二丁目
發行所 成樂會
靜岡市東鷹匠町五二
振替名古屋一〇二四八番

東京 東京市外田端三四六
事務所 中井博士邸内 原田

團體申込特別扱是非乞御照會

深山の紅葉

[獨唱]

犬童球溪作詩
佐々木英作曲

優美に

mp

ミ ヤ マ ノ オ
た つ た の ひ

ク ノ ミ ネ ニ ノ ホリ テ フ カ キ タ
め の ほ そ き か ひ な に ひ ろ き き み

ニ マ ナ ナ ガ メ ミ レ バ ヨ ノ マ ノ シ
や ま な そ め て お り て た れ に か き

ケ レ ア サ ノ ツ ユ ニ ソ メ モ ヤ シ ツ ラ ン モ
す と あ や や に し き あ き ひ に ゆ ふ ひ に か

ユ ル イ ロ ニ ア ア ア ア ア ア モ ミ ゲ テ
け て さ ら す あ あ あ あ あ あ あ き の や

ル チ シ ホ ノ イ ロ モ ミ ゲ テ ル
ま う る は し き よ し あ き の や ま